

VI. 私費外国人留学生選抜

1. 出願資格

外国の国籍を有する者（日本国の永住許可を得ている者は除く）で、かつ、次の(1)及び(2)の要件を満たす者

- (1) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する令和元年（2019年）度及び令和2年（2020年）度の「日本留学試験（*1, *2, *3, *4）」を受験し、1回の受験で次の①及び②の基準を満たす者
 - ① 日本語の成績（「読解」, 「聴解・聴読解」）が200点以上の者
 - ② 理科及び数学の成績の合計又は総合科目及び数学の成績の合計が200点以上の者
- (2) 次のいずれかに該当する者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和3年（2021年）3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② 外国において、令和3年（2021年）3月31日までに次の資格を取得した者
 - (ア) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
 - (イ) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
 - (ウ) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
 - (エ) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格
 - ③ 外国において、令和3年（2021年）3月31日までに文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了又は修了見込みの者

(*1) 日本留学試験で受験を要する科目等

- ① 日本語
- ② 理科又は総合科目のどちらか（理科は物理・化学・生物から2科目を受験すること。科目の指定はしない。）
- ③ 数学（数学はコース1, コース2のどちらかを受験すること。）

(*2) 日本留学試験の日本語以外の科目は、日本語で出題された科目及び英語で出題された科目のどちらを受験してもよい。

(*3) 日本留学試験の成績は、令和元年（2019年）度及び令和2年（2020年）度の6月及び11月に実施の試験の成績を利用する。

複数回受験した場合は、志願者本人が利用してほしい1つの受験回を選択する。

(*4) 日本留学試験についての問い合わせ先

日本留学試験受付センター（電話 0570-55-0585）

(注) 出願資格について疑問のある場合は、学歴等を記載のうえ、出願前に入試課へ郵便で照会すること。その際、返信用封筒（長形3号の封筒に必ず日本国内の連絡先の住所、氏名、郵便番号を記入し、84円分の切手を貼ること）を同封すること。

本学が求める英語力について

本学では、深い教養と基礎的技能を獲得することを目的とする教養科目を設けています。その中の語学領域で必修科目として開講している「英語コミュニケーション」（1年次I・II期開設）は、高等学校で英語を履修したことを前提として授業を行っています。

高等学校等で英語を履修していない場合、「英語コミュニケーション」を受講するまでに、少なくとも日本の中学校3年間の英語教科書にある内容を学習しておく必要があります。

なお、本学では、申請によりTOEFL等のスコアに基づき、「英語コミュニケーション」の単位を認定する制度を設けています。

2. 出願期間

令和2年（2020年）12月22日（火）から令和2年12月24日（木）まで

ただし、出願期間後に到着した場合でも、12月23日以前の発信局消印（日本国内に限る）のある「書留速達」に限り受理する。

3. 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、日本留学試験と東京学芸大学入学試験の成績及び出願書類を総合して判定する。

なお、東京学芸大学入学試験の成績では学力の3要素の全て及び「教員又は教育支援人材への意欲・適性」を評価する。出願書類では主に学力の3要素のうち「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」及び「教員又は教育支援人材への意欲・適性」を評価する。